

# 不祥事を乗り越えるために

今、われわれにできること

2018.07.03

No.22

校長 渡邊 幸二

またまた不祥事……しかもまた「盗撮」。(今日の山形新聞をご覧ください)

気のゆるみでは済まされない重大不祥事に、多くの先生方は心を痛めていることでしょう。せっかく築き上げた保護者・地域との信頼関係も、この1件によってわれわれも「同じことを考えている」「同類」と保護者等からみなされてしまっている可能性があります。水泳の季節、子どもたちの輝く姿をと思いカメラを向けるのもためらわなければならないのでしょうか……。まったく残念でなりません。

4月のスタート、校長室だよりNo.1で以下のように述べました。

## (2) 信頼される学校(実は最大の危機未然防止策)

信頼は元々あるものではありません。また、信頼を築くことはとてもたいへんな道のりを必要としますが、崩れるのは一瞬です。

その大切さを案外私たちはわかっていないのかもしれませんが。「信頼」を商業的に言うと「信用」ということになるでしょう。ある物を買うとします。まったく同じ物、例えば同じ成分のあるジェネリック薬品AとBがあったとします。まったく同じですから同じ値段であればどちらを買ってもいいわけです。しかし、Aという薬は非常に研究熱心な薬品会社を作り、Bという薬は最近何かと問題や不祥事で話題になっている会社を作ったとしたらどうですか。そういう情報を知っていたら、私たちは絶対にAを選択し、Bには手を出さないでしょう。それが会社に対する「信用」、すなわち「信頼」です。

では、私たちが重きを置くべき学校の「信頼」とはどんな姿をしているか。保護者や地域の方などは、何を手がかりに私たちに信頼してくれるのか、逆に失うのか。

## 今、われわれにできること

資料をお渡ししますので、目を通していただき、ご自分でチェックしてみてください。しかし、不祥事は年度初めの職員会議で資料をお渡ししたように、交通違反から、万引き等、当然ですが生活のあちらこちらに落とし穴があります。それらに陥らないようにというのは当たり前ですが、今、われわれにできることはひとつしかありません。それは、粛々と誠実に授業を行い、子どもを笑顔にしていけることです。子どもと共に生活を創り、学校活動を創り、浜田小学校をリードすることです。子どもの成長した姿で保護者や地域のみなさんに訴えていくしかないのです。よろしく願いいたします。

